

単元別／実力定着度確認問題 〈解答・解説〉 [第5講／助動詞]

1.

- (1) A: I was out of the party hall then, so Lucy (**Ans. ②** can't have seen) me.
B: But she did.
A: 僕はパーティ会場の外にいたんだから、ルーシーが僕を見かけた筈はない。
B: だけど彼女は君を見かけたんだよ。
- (2) Something (**Ans. ④** a-must) be wrong with this vacuum cleaner; it (**Ans. ④** b-would) not work.
・この掃除機はどこか故障しているに違いない、どうしても動こうとしない。
- (3) You (**Ans. ③** can not) be too careful in the choice of your lifelong friends.
・生涯の友人を選ぶときはいくら注意してもしすぎることはない。
- (4) A: The documents have disappeared from my desk.
B: Your secretary (**Ans. ③** may have brought) them to our boss.
A: 書類がわたしの机から消えてしまった。
B: 君の秘書が上司にもっていったのかもしれない。
- (5) That lady (**Ans. ②** a-cannot) be over sixty; she (**Ans. ②** b-must) be still in her forties.
・その婦人が60歳を過ぎているはずはない、まだ40歳代に違いない。
- (6) You (**Ans. ①** may) well deplore that today's youth are indifferent to politics.
・あなたが最近の若者たちが政治に無関心だと嘆くのももっともだ。
- (7) Keep in mind that too much exercise (**Ans. ③** do が×) do you more harm than good.
・練習のしすぎは有害無益であるかもしれない〈に違いない、はずだ〉ということをおぼえておきなさい。
- (8) A: Did you study English grammar last night?
B: No, (**Ans. ①** but I think I should have).
A: 昨夜は英文法を勉強しましたか。
B: いいえ。でもすべきだったと思っています。
※③の regret は過去の事実を目的語にとるので、I regret I didn't study it. となる。②、④の wish は仮定法を用いた節を目的語にとるので、いずれも I wish I had studied it. となる。

2.

- (1) 彼には多くの欠点があるけれど、彼に惹かれずにはいられない。

(1 語不足・不足語 help)

I [Ans. cannot **help**] being attracted to him in spite of his many faults].

- (2) あの男には以前会ったことがあるかもしれないが、いつどこでだったかが思い出せない。

I [Ans. may have met him before, but I can't recall when and where].

- (3) あんな高価な宝石を買うとは、彼女はばかなことをしたものだ。

(1 語不足・不足語 should)

She [Ans. **should**] have known better than to buy such an expensive jewel].

*know better than to do

1. ~するよりは分別がある
- 2. ~しない分別がある
- 3. ~するほどバカではない

- (4) わずかな客のために店を開けておくくらいなら、閉めてしまったほうがまだ。

(1 語不足・不足語 as)

You [Ans. might as well close the shop **as**] keep it open for few customers].

*S may as well do as do' do'してもよいが do してもよい

do'するよりは do する方がよい

*S might as well do as do' do'するくらいなら do した方がまだ

(助動詞 may を might にすることで実現可能性の低いことを述べる仮定法的表現になる)

例 : I might as well starve to death as be for food.

物乞いをするくらいなら(実際はそうはしないが)飢え死にした方がまだ。

- (5) 確かではないが、彼女はその町へ何度か行ったことがあるのかもしれない。

(1 語不足・不足語 been)

I'm not sure, but [Ans. she may have **been**] to the town several times].

- (6) 善は急げ。(1 語不足・不足語 too)

(=行って良いことはどんなに早く行っても早すぎることはない。)

[Ans. what is good to be done cannot be done **too**] soon].

- (7) 何でも好き勝手にできると思っていたのかもしれないが、そうは問屋が卸さない。

[Ans. You might have thought you could have your own way], but that is the way things go.